



生きたタイムマシーン

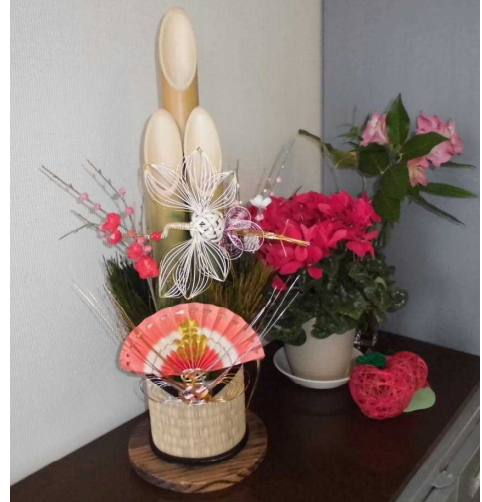
校長 関原 秀明

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

新しい年を迎えたことに合わせて、未来について
思いを馳せてみました。

シンガーソングライターのさだまさしさんが講演
会の中でこう話しています。「子供たちは、未来に向
けて私たちの夢を託すタイムマシーンです。子供は
僕らが見ることができない未来を見ることができる
大事な宝物です」と。心に留まった言葉でした。

子供がやがて見るであろう未来の社会はどのよう
なものなのでしょうか。国の各機関や民間の研究所
が、17年後の2035年を次のように予測しています。



- ・65歳以上の全人口に占める割合が32.8%となる。(つまり3人に1人の割合です。)
- ・若返りを誘導する因子の投与などによって健康寿命が伸びる。
- ・ロボット産業の市場規模が9.7兆円に達する。(2012年現在8600億円)
- ・現在ある職業の67%がロボットや人工知能(AI)の仕事になる。
- ・自動運転車が世界の新车販売の25%を占める。

予測ゆえ数字は変動するとしても、17年後の未来は今の社会と大きく変わることは容
易に想像できます。そのとき現在の小学生は23歳～29歳となり、これから人生を切り拓
き、大いに活躍するための大切な年齢を迎えます。私たち大人は今の子供たちに何を伝
え、何を残してあげたらよいのでしょうか。

さだまさしさんはこうも言っています。「子供たちは生きたタイムマシーンなので彼
らの瞳が曇らないように、どうすればよいか僕らは迷います」と。

厚生労働省の報告書(「働き方の未来 2035」2016年)には これからの教育のあり方
についてこんな記述があります。「今は姿かたちのない新しい職業に将来就く可能性も
ある。仕事も働き方もますます多様化していく中で、未来ある子供たちには、無限の可
能性が広がっている。」「単に物事を覚えるよりも、考える、友達を作る、力を合わせる、
人を喜ばせるといったソーシャルスキルや人と接する能力を子供たちに身に付けるさせ
る方が、実社会では通用する」というものです。子供たちに伝えること、残せるもの
のヒントがここにあるのではないかと思います。

さだまさしさんは、全国各地でボランティア活動に取り組む高校生を讃える全国大会
を催しているそうです。同じことはできないにしても、例えば「自分で考え判断するこ
と」「人との関わり」など大切だと思えることを伝えていくこと、そして、範となり具
体的に行動していくことならできるようになります。生きたタイムマシーンが見る未来が、
「チャンスがあるからがんばってみよう」「夢をもって努力したい」と思える世の中
になるように、大人一人一人が試されているとも言えます。

☆お知らせ 4年生がラジオに出演します！

- ・日 時：1月17日(水) 昼12:35頃から生中継(再放送1月28日(日)午前8:30～)
- ・番組名：『でるラジ小学校 ラジオでビバクイズ』(KNBラジオ)
- ・内 容：国吉小学校三大ニュースを発表したり、ビバクイズに挑戦したりします。

※裏面に2学期末に行った学校評価の結果と考察を載せました。ご一読ください。